

# 峠の向こうは春

## 悩んだ分だけ、その決意は重いはず！ 希望進路実現のために、とことん学習に向 かっていこう！

今回の三者懇談で、いよいよみなさんの受験（受検）校が決定しています。その決定の仕方も、朝令暮改的に決めただけではなく、とことん悩んだ結果だと思しますので、それなりに重さがあると思います。今までは、「自分が行きたい高校はどこなのか？」「希望の高校に合格できる可能性はどうか？」など受検校を決めることが目標であったと思いますが、これからは「自分の選んだ高校に合格する！」ということが目標になります。

では、どうすれば合格できるのでしょうか？

あらゆる場所と時間で、「学習」に向き合うことです。そのあらゆる場所と時間の中で、最も大切なのは、「授業」です。これから、3学期に学習する内容は、「復習」の時間があまり残されていません。だからまず、授業の時間の中で理解しきることが原則です。授業によっては、復習や受験対策に取り組んだりするときもあるでしょう。その時も受験の本番だと考えて取り組みましょう。

大切なのは、「学習すべき時間に学習に集中できる」姿勢をサツと持つことができることです。学校の授業でケジメのつかない人は、大変効率の悪いことをしています。今までいろんな三年生を見てきましたが、受験校がどんな高校であろうとも、「授業を集中して受けている人」と、「授業はダラダラ」「授業は適当に、塾でやればいい」と考えている人とは、入試時の命運が分かれる場合もありましたし、それぞれ高校進学して以降の生活においても命運を分ける場合もありました。

つまり、受験期に学習できない人が、入学して頑張れるとは思えないからです。事実そうなるケースがあるということです。たとえ、合格がほぼ確実と思われる人でも、この時期に受験に向けて必死になって学習するのは、すでに高校に入学してからのことと考えているからです。「高校に入ってからでいいやん」という人は、高校に入ってもっと苦しみ、そのうち自分の選んだ高校について、あれこれ非難するために、わざわざ中学校にやって来るという人も少なくありません。

また、この三者懇談の中で、所謂「推薦」と名のつく方式で受験することになった人たちがいます。この「推薦」という方式について、時々誤解している人がいるようですので、説明をしておきます。「推薦」という受験方式は、

①私立高等学校が示す学業成績や競技・特技成績について、その基準を満たしている者

②中学校長が、その人物において、優れていると認めた者

この2つの条件を満たしている場合に、「推薦」という方式で受験できることになります。ですから、「あの人、〇〇高校から推薦をもらっている」という言い方は正確ではありません。さらに、「推薦もらったから、もう勉強せんでいいねん」というのは、大きな間違いです。中学校長が、「人物において優れている」ということで受験できるわけですから、今の時期から勉強せずにだらだらと過ごしたために、高校に入学してから高校側の予想に反して、学習や競技に打ち込めなかったり、人物において「どうか？」と疑問を持たれるような状況であれば、

高校側からすれば、「長岡第三中学校の校長先生は信用できない」ということになってしまいます。その逆であれば、「さすがに推薦されるだけのことはある。学習や競技もしっかり取り組んでいるし、人物も優れている。」と太鼓判を押して頂けることになるでしょう。つまり、推薦という方式で受験する人こそ、まわりの人の模範となり、自分に厳しく過ごさなければならぬということになります。該当する人は、このことを肝に銘じておいてください。もっと詳しく言うと、三者懇談に後、今学期中に校長先生から、推薦できるかどうかの判断をもらうことになっています。

## 受験（受検）書類の提出について

進路希望を実現するためには、学習以外にも必要なことがあります。その一つが、「出願（願書の提出）」です。もしも、願書にミスがあり、受験校が受理（受付）してくれなければ、受験することができないので、その高校に入学できる可能性は、0です。挑戦する場すらもらえないこととなります。

だから、出願までに何度も点検をします。ただ、提出すべき日に提出されないと点検することができません。高校は、自分の意志で選び、自分の力で合格を勝ち取るものです。中学校の教師が代わりに願書を書いたりすることはありません。

もし、期限を守れず出願日に間に合わなかったり、不備があって受け付けてもらえなければ、その人には受験するための基本的な能力がなかったと判断せざるをえません。

もちろん、できるだけ支援はします。今まで教科などの提出物を期限通り提出できている人は心配する必要はありません。間違えていれば、訂正したり書き直せばよいだけです。それができるゆとりをもって、準備をすすめましょう。

### 私立高校の受験準備について※願書セットは、各自で準備してください。

①私立web出願の高校で、「申込内容確認書」を担任の先生に確認してもらっていない人は、1月10日(火)に必ず提出。また、すでに確認してもらっている人は、受験料振込可です。で、振込次第「願書」を提出してください。(最終は、1月12日(木)です)

②私立高校で紙願書の人は、1月10日(火)に下書きを必ず提出してください。受験料振り込み可であれば振り込んでおくようにしてください。但し、願書にはまだ貼らないでください。

※なお①②のいずれの場合でも、他の書類(例えば、英検の合格証のコピーや封筒等すべて)も合わせて提出です。また、推薦受験の人で、推薦書のある人は、推薦書も担任の先生に無記入のまま提出してください。

※私立高校は、個人出願ですが、大谷・京都成章・京都明徳の3校については、人数が大変多いため、まとめて学校から持参することになります。

### 公立高校前期選抜の受験準備について

①3学期始業式1月10日(火)に願書(願書以外に書類の必要な人はそれも)の下書きを提出してください。

②1/10(火)に公立前期受検料納付書を配付します。コンビニ・金融機関等でお支払いください。学校への納税証明書の提出日については、担任からお知らせします。

\*京都市立高校(西京、銅駝美工、京都工学院、堀川、日吉ヶ丘、紫野、開建)の受検料の集金については後日連絡します。

※京阪神以外の他府県私立高校・他府県公立高校や舞鶴高専推選抜等については、担任の指示に基づいて、準備してください。